「事例で学ぶNetモラル」の変遷

「事例で学ぶNetモラル」は、「いつでも、どこでも、だれでも、情報モラル教育を！」をコンセプトに、学校の置かれている環境、児童・生徒の発達段階や情報手段等の活用状況に合わせて、すぐに指導することができる教材として2005年に発行されました。それ以降、**時代に沿った教材として毎年事例の増補～修正を行っています。**

- **2005年度版**（初版販売開始）
  - 総事例数：22
- **2006年～2008年度版**
  - ・**保護者向け教材**の新設
  - ・**情報モラルモデルカリキュラム表**に対応
  - 新事例数：+23
  - 総事例数：43
- **2009年～2014年度版**
  - ・**道徳用読み物**の追加
  - ・**ショート教材**の新設
  - ・**ネットモラルけんてい**の新設
  - 新事例数：+42
  - 総事例数：85
- **2015年～2016年度版**
  - ・**選んで簡単！ネットモラル**で事例が選びやすく
  - ・**事例検索**で目的の事例を探しやすく
  - ・**iOSに対応**（※）
  - （※）クラウド版限定
  - 新事例数：+8
  - 総事例数：72
- **2017年～2021年度版**
  - ・**お気に入り機能**の追加
  - ・**Netモラルけんてい**のCBT化
  - ・「**情報活用能力の体系表例**」への対応
  - 新事例数：+24
  - 総事例数：79
- **2022年度版**
  - ・**クラス作成の簡易化**
  - ・**GoogleSingleSignOn**への対応
  - 新事例数：+5
  - 総事例数：81

先生方からの声

東京学芸大学
教育学部准教授
高橋純 先生

気楽な活用を繰り返していくことが大切

本教材では、具体的な事例を通して学ぶようになっています。事例が具体的であるからこそ、学習者が悩んだり葛藤したりしながら、現実的な対応法を学んでいくことができます。
子供だけではなく先生や保護者も一緒に学んでいく、そういう気楽な活用を繰り返していくことが大切だと思います。

柏市教育委員会
教育専門アドバイザー
西田光昭 先生

よりよい生活をつくっていくための教材として活用していきたい

子供たちの生活は、思った以上にネットに深く関わっています。その中で、正しい知識や考え方の指導を重ねていくことは欠かせません。
心配なことがあるからだけではなく、望ましい使い方をし、よりよい生活をつくっていくための教材として活用していきたいと思います。

【対応ブラウザ】「事例で学ぶ Net モラル」をお使いいただくための対応ブラウザは、以下の通りです。

Microsoft Edge、Google Chrome、Safari

※ Microsoft Edge は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
※ Google Chromeは、Google Inc. の商標です。
※ Safariは、米国および他の国で登録されたApple Inc. の商標です。

【その他】

Adobe Reader

※ Adobe Reader は最新のバージョンを推奨します。
※ Adobe Reader は Adobe System Incorporation（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。

※製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

広教がご提供するeラーニングサービス

事例で学ぶ Netモラル eラーニング
HP はこちら
GIGAスクール構想時代の情報モラル指導に最適！

事例で学ぶ 学校情報セキュリティ
HP はこちら
学校教育に特化した情報セキュリティ研修eラーニング！

広教
広島県教科用図書販売株式会社　ITソリューション事業部
〒733-0032　広島県広島市西区東観音町15番12号
TEL：082-291-1088　FAX：082-291-1082
URL https://www.hirokyou.co.jp/
E-mail：info-hiroshima@hirokyou.co.jp

【販売店】

情報モラル教育支援教材

事例で学ぶ Netモラル

Netモラル・セキュリティ研究会編

2022 VER

企画・監修
東北大学大学院
情報科学研究科
教授　**堀田 龍也**

- 日常的な情報モラルの指導
- 情報活用能力の育成
- 保護者啓発の充実

豊富な教材と確かな指導資料で情報モラル教育を支援

事例で学ぶNetモラル 活用方法

授業で活用！オープンエンドのアニメーション

ドラマ仕立ての事例、まとめ、ストーリーを理解するためのキーシーンの3つで構成されています。

事例　**まとめ**　**キーシーン**

幅広い事例だから学びたいものが見つかる！

指導資料　問題点を理解するための資料、指導案、ワークシートなど4種類の指導資料が付属しています。※教材によって付属する資料に違いがあります。
●A4版冊子とデジタル版の2種類で用意しています。印刷、コピーしてお使いいただけます。

資料

指導案

ワークシート

配布資料

キーシーン掛図（B4サイズ）

■ラインナップ　NEW! 新事例５点追加！！

小学校版：64 事例	中学校版：51 事例	高等学校版：44 事例
・タブレットパソコンを使うとき ・ネットもリアルも大切に ・持ち帰り学習　など	・協働学習 ・写真の投稿 ・グループトークでいじめ　など	・著作権を守る ・ネットでの誹謗中傷 ・偽サイト　など

※小学校版、中学校版、高等学校版の各パッケージで収録される事例は異なります。

事例で学ぶNetモラルCBT CBTの特徴

簡単＆気軽に子供の情報モラル理解度チェックができます

NetモラルCBT（Computer Based Testing）※小学校中学校版のみ ※広教クラウド契約が必要です

子供の年齢や習熟度、そして学習のねらいから
簡単＆気軽に子供の情報モラル理解度がチェックできます。
それぞれ4択×10問（低学年は2択×5問）で構成され、5～10分程度の短時間で気軽に取り組むことができるテストです。
子供のテスト結果をシステムで管理できます。

アンケート
子供たちのネット利用の実態把握ができます

テスト
子供たちの理解度を簡単にチェックできます

集計
クラス全体の状況も確認でき、個別にも対応しております

GoogleClassroom と連携可能！　※連携にはお手続きが必要です

GoogleClassroomのご利用がなくても、簡単に「クラス」が作成できます！

クラス一括登録

児童・生徒一括登録

※GoogleClassroomの商標およびロゴは、Google Inc.の登録商標または商標です。

環境や場面に合わせて　様々な活用ができます！

迷ったらまずはここから！ ここからはじめるNetモラル

ランキング形式だから重要な事例がわかりやすい！

指導内容の重要度が高く、授業でもよく活用されている事例アニメーションをセレクト。**迷った時はまずはここから！**
学年別に教材が選べるので、どこから手をつけていいのか迷う時は、ここにある教材をおすすめします。

学校で家庭で　1人1台端末の活用に

子供たちがパソコンやタブレットを使う上で、情報モラル教育はますます必要不可欠になります。

タブレットパソコンのやくそく　IDとパスワードの役割　情報の信憑性

PCやタブレットを使うときの約束事を学べる事例や情報活用能力を育む事例、疑似体験教材などを豊富にご用意しています。

家庭で　保護者のために

PTA研修会で活用！
事例アニメーション

保護者の方に知っていただきたいネット社会の現状やきまりなどをアニメーションとナレーションで解説しています。

家庭向け配布資料として活用！
プリント資料

チェックシート　配布資料

保護者のために
先生のために
研修を強力支援！

事例で学ぶ
Netモラル
eラーニング
Netモラル・セキュリティ研究会編

2022 VER

企画・監修
東北大学大学院
情報科学研究科
教授　堀田 龍也

2022年度版　新事例11事例追加

Netモラルeラーニング

Point 1 情報モラルeラーニング教材

児童・生徒が「いつでも・どこでも」情報モラル教材に触れることができる

Point 2 GIGA端末の持ち帰りで宿題に対応

先生が課題を設定することで、宿題になりご家庭で保護者と一緒に情報モラルを学ぶことができる

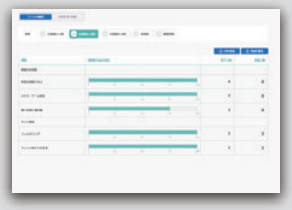
ワンクリックで課題の設定！

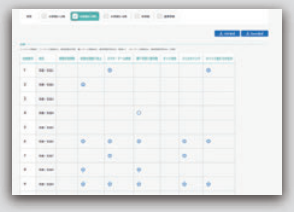
Point 3 児童生徒の進捗状況が一目で分かる

学習結果により、児童・生徒の学習履歴や習熟度をクラス別・個別に把握できる

受講が終了するとこがつくよ！

学習者画面


クラス別診断結果


個別診断結果

※小学校版、中学校版の各パッケージで収録される事例は異なります。

HIROKYO 広教

eラーニングを活用した学習の流れ

子供たちが一人でも学べる 簡単 3 ステップ

1 ログイン

2 事例アニメ視聴

3 確認問題実施

eラーニングを活用する 3つのおすすめポイント

- □ Netモラルの**「事例アニメ」**を使ったわかりやすい教材！
- □ 1事例あたり**5分程度**で受講完了！
- □ ご家庭でも**スマホやタブレット**でご利用可能！

小学校版：26事例	中学校版：11事例	高等学校版：7事例
・持ち帰り学習 ・ネットと私たちの生活 ・ネットもリアルも大切に など	・協働学習 ・ネットでの誹謗中傷 ・グループトークでいじめ など	・著作権を守る ・ネットでの正義感 ・SNSでのなりすまし など

【対応ブラウザ】「事例で学ぶ Net モラル e ラーニング」をお使いいただくための対応ブラウザは、以下の通りです。

Microsoft Edge、Google Chrome、Safari

※ Microsoft Edge は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
※ Google Chromeは、Google Inc. の商標です。
※ Safariは、米国および他の国で登録されたApple Inc. の商標です。

※製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

広教
広島県教科用図書販売株式会社
ITソリューション事業部
〒733-0032　広島県広島市西区東観音町15番12号
TEL：082-291-1088　FAX：082-291-1082
URL https://www.hirokyou.co.jp/

【販売店】

情報セキュリティ研修における「eラーニング」実施のメリット

先生のメリット

①同じ時間、同じ場所に集まる必要がありません。
②自由な時間と場所で学習できます。
③先生個々人の習熟度に応じて学習を進めることができます。
④働き方改革の実現。

研修の管理者（教育委員会や管理職など）のメリット

①職員全員に統一したレベルの情報セキュリティ研修を行うことが出来ます。
②研修場所の準備や、当日の同席などが必要ありません。（業務の効率化）
③研修資料の準備や印刷物を減らすことができます。（コスト削減）
④必要な学習（研修）習熟度の把握などの自動化が図れます。（見える化）

04 ご提供形態

「事例で学ぶ 学校情報セキュリティ」では以下の形態をご用意しております。

形態①「先生数」ライセンス版

管理者ライセンス ＋ 先生数×年間利用料

教職員の人数分の年間利用料で
ご利用いただけます。

形態②「学校数」ライセンス版

管理者ライセンス ＋ 学校数×年間利用料

学校数分の年間利用料でご利用いただけます。
校内は職員数に限らずライセンスは無制限です。

05 構成イメージ（動作環境）

「事例で学ぶ 学校情報セキュリティ」での動作環境は、以下の通りになります。

対応ブラウザ

Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox、Safari

※ Microsoft Edge は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
※ Google Chrome は、Google Inc. の商標です。
※ Mozilla Firefox は、米国Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
※ Safari は、米国および他の国で登録されたApple Inc. の商標です。

※サービスの仕様は予告なく変更する場合があります。

HIROKYO 広教
広島県教科用図書販売株式会社　ITソリューション事業部
〒733-0032　広島県広島市西区東観音町15番12号
TEL：082-291-1088　FAX：082-291-1082
URL https://www.hirokyou.co.jp/
E-mail：info-hiroshima@hirokyou.co.jp

【販売店】

事例で学ぶ Netモラル の広教がご提供する先生のためのeラーニング

事例で学ぶ 学校情報セキュリティ

Netモラル・セキュリティ研究会編

2022 VER

企画・監修
東北大学大学院
情報科学研究科
教授　堀田 龍也

学校の情報セキュリティ研修を eラーニングで実現！

●教室や職員室など、どこからでも実施できます
●決められた期間までに任意のタイミングで学習可能
●管理者は、学習履歴や進捗状況が把握できます

HIROKYO 広教

01 「e ラーニング」を活用した学習の流れ

「事例で学ぶ 学校情報セキュリティ」での学習の流れをご案内します。

STEP#03〜#04は、10分程度で終了！

STEP#01

ログイン

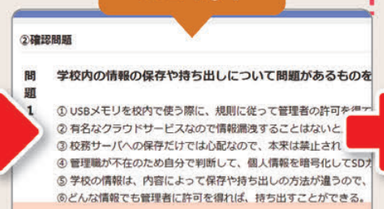
STEP#02

受講コンテンツの確認

STEP#03

学習用アニメーションの視聴
（3〜5分）

STEP#04



確認問題の実施
（1事例2問）

STEP#05

全ての受講が完了
認定証が授与されます

02 豊富なコンテンツ

各事例では、学校での情報セキュリティの現状や問題の背景、事故を防ぐための知識について、わかりやすく解説しています。
その上で学校現場で起こりうる事例をアニメーションを見て体験し、さらに「確認問題」を受講することで、知識の確認と定着ができます。

学校現場における「今」の脅威に対応するため毎年自動でバージョンアップ！

2022年度へ
バージョン
アップ！

メール送信の基本

連絡手段として便利な電子メール。教職員だけでなく、保護者との連絡にも使用します。メールアドレスは大切な個人情報であり、学校が持つ情報資産です。流出すると情報漏洩の問題になります。
この事例では、電子メールの宛先設定でどのように TO、CC、BCC を使い分けたらよいかをわかりやすく解説します。

「情報の扱いの知識とスキル」の事例	「危険な行動」の事例
ID とパスワードの管理 ／ パスワードによるロック ／ USB メモリの紛失 ／ 私物機器を使ったデータの持ち出し ／ CD からのウイルス感染 ／ 二要素認証 ／ 詐欺メール ／ クラウド時代のセキュリティのポイント ／ フィッシング詐欺 ／ 情報の共有 ／ メール送信の基本 ／ クラウド利用で変わるセキュリティ対策 ／ 校内情報の配信	運用規程を守る ／ アナログ情報の管理 ／ 裏紙の再利用 ／ 不審な電話 ／ メールとファックスの誤送信 ／ 保護者と連絡先交換 ／ SNS への投稿 ／ フェイクニュース ／ 不正アクセス

各事例は文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（令和３年５月版）」に対応！

二要素認証

ガイドライン内の該当箇所（例）「二要素認証」

物理的セキュリティ　1.4.4. 教職員等の利用する端末や電磁的記録媒体等の管理
④教育情報システム管理者は、取り扱う情報の重要度に応じてパスワード以外に生体認証や物理認証等の多要素認証を設定しなければならない。

その他「情報セキュリティの基礎知識」や「用語集」などコンテンツ多数！

情報セキュリティの基礎知識

情報セキュリティに関する校内研修が簡単にできます。

学校における情報セキュリティや社会的背景などについて、アニメーションとナレーションで分かりやすく解説しています。
また、文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（令和３年５月版）」について、全ての教職員が理解しておくべき内容をまとめた事例もあります。

用語集

基本に関する用語から、専門的な用語まで180 以上の用語を解説。

コンピュータの基本からセキュリティ用語まで、知っておきたい 180 以上の用語を解説しています。

03 進捗や履歴を把握

レベルの統一　業務の効率化　コスト削減　見える化

メリット多数！

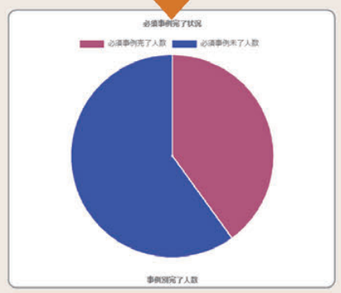
管理者

研修の管理者（教育委員会や管理職など）の方は、学習者の進捗や履歴を把握できます

受講状況

管理者は、受講者の進捗状況の確認や、未実施者へメールで受講催促を通知することができます。
また、CSV データとしてダウンロード可能なので、履歴の管理や保存が簡単にできます。

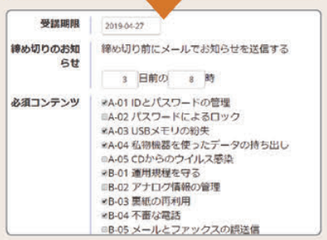
受講状況グラフ



受講者の必須完了事例が一目でわかるグラフの表示ができます。

受講必須事例の選択やコンテンツの追加などのカスタマイズも可能

受講必須事例の選択

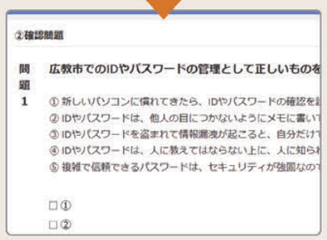


全事例の受講が難しい場合は、受講を必須にする事例を指定することができます。また、期日が近くなると、自動で受講者に一斉メールで通知することも可能です。

オリジナルの資料等をアップ

自治体や学校で使用されているオリジナルの資料等を e ラーニング内で共有できます。画像、PDF、Office 等の形式の他、サイトリンクの共有も可能です。

確認問題のカスタマイズなど



自治体や学校のセキュリティポリシーや現状に合わせて、確認問題などをアレンジして作り変えることもできます。